

認知症コーナー

認知症にまつわる情報をわかりやすくお伝えするコーナーです。

今回のテーマは、若年性認知症

認知症は高齢者だけが患うものではなく、若い世代でも発症することがあります。65歳未満の人が発症する認知症を総じて「若年性認知症」と言います。

気になる初期症状

- 仕事でミスが目立ち始める。
- 料理の味付けが変わる。
- 会話がかみ合わなくなる。
- やる気が出ない。



年齢が若いから認知症とは思わず、本人が「疲れているせいだろう…」としたり、本人が気になっても、家族や友人等から「大丈夫でしょ」と言われて、発見が遅れる場合もあります。

早めに相談、受診が必要！

若年性認知症は進行が早いですが、早期に治療を始めることで進行を遅らせることができる可能性があります。気になる症状があった場合は、専門医(精神科)やかかりつけ医に相談しましょう！



若年性ならではの問題が…

働いている方であった場合は、収入が減ることで家計に影響が出る可能性があります。親と同居している世帯では、家族と親の介護が重なる場合があったり、お子さんが成人前であると、介護の協力が難しく、他家族に介護負担が集中してしまうなど、複数の問題を同時に抱えてしまうことになります。

社会保障制度の活用や、障害者手帳の交付などで税金等の補助が受けられるほか、介護・障害サービスの利用で介護負担を減らすことができます。

たよれーるでも、少しでも不安が解消できるよう関係機関と連携を図っていきますので、まずはご相談ください

編集
発行

恵庭市みなみ地域包括支援センター

たよれーる みなみ

☎(0123)34-8467

FAX(0123)34-8561



〒061-1423 恵庭市柏木町 429 番地 6 (特別養護老人ホーム“恵望園”内)

たよれーるみなみだより

2024年度
春号

～新年度のご挨拶～

日頃より地域の皆さま方には、たよれーるみなみの諸活動に対し、温かいご支援とご協力をいただきまして、心より感謝しております。

たよれーるは、恵庭市の委託を受け、高齢者の方々が住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けていただけるよう、介護・福祉・健康に関する相談対応や地域づくり等、様々な業務を行い、「高齢者の身近な総合相談の窓口」として活動を始めてから、おかげ様で、この春に18年目を迎えました。

今後も「誰もが相談しやすいセンター」を目指し、地域の皆さまと多くの場面でお会いし、覚えていただきたいと思っておりますので、高齢者の相談以外にも、地域活動などへもお声がけいただければ、ぜひ、参加させていただきたいと思っております。

今年度は、新たなメンバーを迎え総勢8名となり、下記の職員でお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

担当地区

有明町 大町 文京町
牧場 盤尻 桜森 恵央町
幸町 柏木町 美咲野
桜町 駒場町 白樺町
恵南



お住まいの地域を担当する職員です。

吹田

南

碓井

越

福士

石渡

志賀

奥宮

新しい職員の紹介



みなみ ようこ
4月より配属となりました、社会福祉士の南 葉子です。
2年ぶりに戻ってきたかたちとなりますので、改めてよろしく
お願いいたします。
プライベートでは2児の子育て中で、イヤイヤ期真っ盛りの
長男に毎日振り回されています。(笑) まちで見かけたら気軽
にお声かけください。

4月より配属となりました、認知症地域支援推進員の
おくみや けい
奥宮 啓です。

1年ぶりに戻ってきました。
これまで同様に認知症になっても暮らしやすいまちづくりに
励んでいきますので、よろしくお願いいたします。
今年の目標は健康的な生活を送ること！家庭菜園や運動など
外での活動を楽しみたいと思っています！



4月より配属となりました、介護予防サービス計画作成
しが かすみ
担当の志賀 花澄です。

趣味は旅行先の飲食店でごはんを食べることと、バイクに
乗ることです。暖かくなったので桜の名所を巡ってみようと思
っています。

これまでは市内の別の地域包括支援センターで勤務してい
ました。地域の皆さんのお力も借りながら、頑張りたいと思
いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



生活支援コーディネーターの紹介

4月より生活支援コーディネーターに配置換えとなりました
ふきた ゆうき
吹田 優紀です。

地域の皆さまがいきいきと暮らせるよう、これからもお手伝
いさせていただきます。

昨年掲げた自転車通勤は目標を達成できなかったのですが、
おいしいものが好きすぎて健康がおそろかにならないよう、今
年こそ強い気持ちで、自転車に乗ろうと思います。



その1 介護と低栄養のふかーい関係



たよれーるでは、担当地区の皆さんが、健やかに過ごせるように、健康状態について
のデータを患庭市と情報共有しています。

今回は、要介護・要支援の認定を受けた方と、認定を受けていない方の健康状態の違
いについてお伝えします。

みなみ圏域の認定者・非認定者の有病率（病気を
持っている人の割合）の差（精神疾患を除く）

	認定を受け た人	認定を受け ていない人	差
糖尿病	63.5	51.4	12.1
高血圧症	88.5	77.4	11.1
脂質異常症	68.5	64.1	4.4
心臓病	47.5	31.3	16.2
脳疾患	53.4	26.8	26.6
がん	45.5	34.9	10.6
筋・骨格	83.4	64.3	19.1
低栄養	38.7	18.8	19.9
認知症	29.5	3.8	25.7

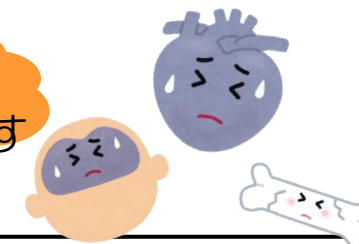
出典：患庭市KDBシステム（令和4年度）

脳を守る生活については、以前お伝えしていま
すので、今回は低栄養についてお話しします。

低栄養とは、体に必要な栄養（主にたんぱく質）や、
エネルギーが不足し、健康な体を維持することが難しい
状態のことです。低栄養が続くと、体を動かすためのエネルギーが不足し、骨や筋
肉、皮膚などの体をつくる材料が足りず、「体力をつけるために頑張って運動したい
のに、どんどんやせてしまう」ような状態につながるため、注意が必要です。

次回以降、低栄養を予防するための生活のポイントについて、お伝えしていきます。

病気が介護に
つながっています



認定を受けている人と、
認定を受けていない人では、脳の疾患、認知症、低
栄養、筋・骨格系の病気（骨
や筋肉の病気）、心臓病の
順で、差が大きくなってい
ます。

これらを予防していく
ことが、介護予防につなが
ると考えられています。

